

令和6年度 第12回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和6年11月2日（土）9時30分～16時00分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター1階 視聴覚室・研修室
- 3 出席者 【青森市】子ども会議委員11名、事務局3名
【八幡市】八幡市子ども会議委員37名、事務局3名、ファシリテーター1名
- 4 活動内容 (1) 八幡市とのオンライン交流会と子ども会議フォーラムに向けて
(2) 八幡市とのオンライン交流会
 - 1 開会
 - 2 自己紹介
 - 3 お互いの市を紹介
 - 4 お互いの活動発表
 - 5 質疑応答
 - 6 感想発表・閉会
- (3) 子ども会議フォーラムに向けて

5 開催概要

今年度初めての他都市とのオンライン交流会を行いました。

八幡市とのオンライン交流会と子ども会議フォーラムに向けて

初めに、八幡市とのオンライン交流会に備えてリハーサルを行いました。司会は高校生委員が行う予定でしたが、欠席のため事務局にお願いしました。読めない漢字にフリガナを書き加え、とおし練習をして本番に備えました。

次に、子ども会議フォーラムに向けての準備を行いました。まずは、当日の発表原稿とスライド資料の作成を頑張りました。お昼休憩終了後は、子ども会議の公式 Instagram に“子ども会議フォーラムまでのカウントダウン動画”をのせるため、撮影で手に持つカウントダウン日数を書いた用紙を作成しました。目を引く字体やデザインをそれぞれで考え、丁寧に作業を進めました。

オンライン交流会の接続準備を行っていたところ、八幡市側の準備が整うのが早かったため、交流会を早めにスタートすることになりました。交流会が始まる前にカウントダウン動画の撮影を終える予定でしたが、急遽オンライン交流会終了後に続きを行うことになりました。

八幡市とのオンライン交流会

両市準備が整ったところで、交流会はスタートしました。

《開会・自己紹介》

司会から交流会の流れなどの説明があった後、自己紹介をしました。学年と名前のほかに、「好きな教科は家庭科です」、「好きなゲームはマリオカートです」、「好きな食べ物はりんごです」など、自分が好きなことなどをひとつずつ言いました。

《お互いの市の紹介》

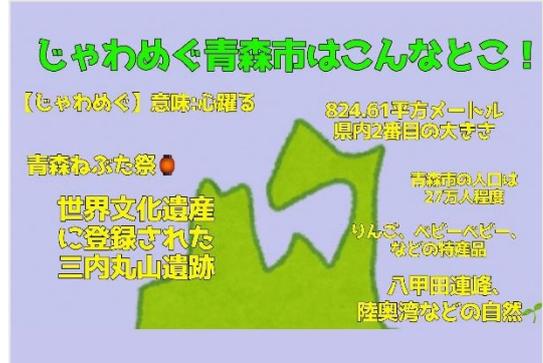
お互いの市の、特産品や観光スポットなどを紹介し合いました。

〈青森市の紹介〉

青森市は、八甲田山や陸奥湾などの自然に囲まれており、ねぶた祭を楽しんだり、おいしい特産品や観光向けスポットもあったり、とても魅力あふれる市です。

有名な青森のりんご、ブランドミニトマトのベビーベビー、味噌カレー牛乳ラーメンなどの美味しいもののほかに、観光スポットとして浅虫水族館、三内丸山遺跡、ねぶたの家ワ・ラッセなどの施設、また18歳までの子どもの権利侵害に関することであれば誰でも相談できる「子どもの権利相談センター」もあります。

私たちが観光にお勧めする季節はねぶた祭りがある夏です！機会があればぜひ青森市に足を運んでみてください！



〈八幡市の紹介〉

八幡市は、京都府全体の真ん中、京都市のすぐ南にあります。八幡市の紹介として、子ども会議で作った市のPR動画をご覧くださいと思います。

(※国宝の石清水八幡宮、日本で初めて動力飛行機を発明した二宮忠八によって創建された飛行神社、名物菓子の走井餅などについて替え歌で紹介する動画)

【歌詞抜粋】

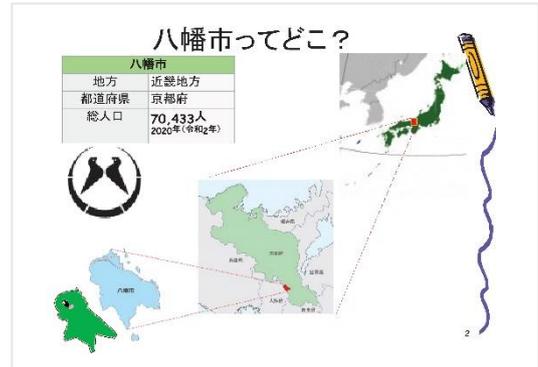
(★国宝：石清水八幡宮の紹介部分)

~~~~~

国宝にまでなってるのに ♪  
み～んなにあまり知～られてない ♪  
石清水で訪問の準備～八幡宮 ♪

~~~~~

※アイドルの有名な楽曲の替え歌



《活動発表》

お互いの子ども会議の活動について発表し合いました。

《青森市の活動発表》

今年度は、「進化し続ける青森市」を活動テーマに、青森市の魅力をシェアする「青森シェアし隊」と、街をアップデートする「UPDATE A.B.C.」の2つのグループで活動を進めています。

「青森シェアし隊」では、駅ビル「&LOVINA」や「カクヒログループスーパーアリーナ」などの新しくできた施設、バドミントン選手「奈良岡 功大」さんやプロ野球選手の「木浪 聖也」さん、お笑い芸人の「古坂大魔王」さんなどの青森市の有名な人についてなど、自分たちで青森市の魅力を調査し、子ども会議の公式 Instagram を活用して、その魅力をシェアする活動をしています。

「UPDATE A.B.C.」では、青森市を“アップデート”するために、青森を代表する祭である「青森ねぶた祭」の運行コースのごみ拾いをしたり、資源ごみのリサイクル施設である ECO プラザ青森の見学をしたり、りんごを使った料理をつくったりしました。

このほか、子どもの権利を広めるために、オリジナルTシャツをつくって活動していて、青森ねぶた祭りなどの各種イベントでPR活動も行っています。活動の中で気づいたことを市へ直接、意見提案もしています。

今回の交流会では、八幡市子ども会議のみなさんがどんな活動をしているのか知り、参考にしながら自分たちの活動に活かしていきたいと思っています。



《八幡市の活動発表》

八幡市子ども会議では、小学生・中学生・高校生それぞれで班を作り、活動しています。

(小学生A班) 1年中八幡市を盛り上げるために、四季それぞれの魅力(春は背割堤の桜まつり、夏は七夕まつり…など)を考えました。

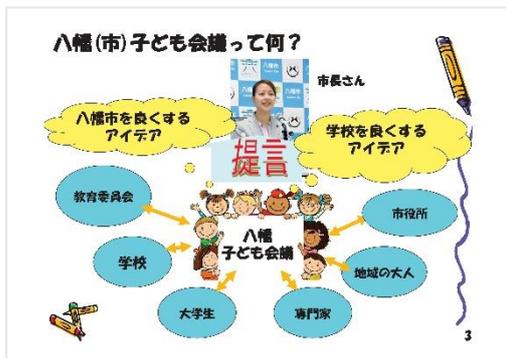
(小学生B班) 放置竹林問題の理解を深め、地域資源の再活用や自然保護につなげるために、学校の授業で竹を使った工作(コップやおはしなど)を行ったらどうだろうかと考えました。

(小学生C班) あまり来場者が多くない八幡市の「こども動物園」に多くの人が訪れるようにするために、子どもたちが自由に意見を書き込める掲示板の設置や季節イベントの開催などの解決策を考えました。

(中学生D班) 高齢者と学生の交流機会を増やすために、八幡市は竹が有名なので竹で作ったモルックで八幡オリジナルルール(早口言葉やジェスチャーを取り入れることで体をつかった交流や早口言葉による学習療法の効果を引き出す)のゲームを行うのはどうかというアイデアを考えました。

(高校生班) 国産ジェット機の開発失敗などにより、日本の航空業界に活気が失われつつあるため八幡市にはライト兄弟よりも先に飛行機を考案していた二宮忠八が創建した飛行神社があるということで、子どもも大人も飛行・宇宙に興味を持ってもらうことを目的として、飛行機に縁のある八幡市から、飛行・宇宙に関するイベントをやったら良いのではないかと考えました。

各班が考えたこれらのアイデアを、八幡市長へ意見提言する予定です。



質疑応答

お互いの発表を聞いて、気になったことを質問しました。

《八幡市から青森市へ》

(問) りんご使った料理を作ったということですが、どんなものを作りましたか?

(答) りんごのお味噌汁や麻婆りんごなど斬新なものや、王道なものだとアップルパイなどを作りました!ほかにもりんごシロップのかき氷や塩りんごを作りました!

(斬新な料理に八幡市からは「えー!」と驚きの声が多くあがり、盛り上がりました。)

(問) 八幡市では、小学生・中学生・高校生と年齢で分けて活動しているんですが、青森市はどのような形でグループを分けて活動していますか?

(答) やりたいことでグループを作って、グループの中の学年や年齢は混ぜ混ぜでやっています!(自分たちと違う分け方が新鮮だったようで、八幡市からは「へー!」と驚きの声があがりました。)

など

《青森市から八幡市へ》

(問) 竹を使ったモルックのほかにも、竹を使った遊びはありますか?

(答) 竹つぎりレーというがあるので、やってみせます!半分に割った竹をいくつか用意し、まず一人が竹の上でボールを転がします。次の人も同じく竹を持った状態でボールを落とさないように受け取り、また次の人が同じように竹でボールを受け取り…と繰り返していくというものです。

(青森市からは「わー！そういうことか！」、「楽しそう！」という声があがり盛り上がりました。)

(問) 青森市では青森市出身の有名人を発表しましたが、八幡市にも有名な人はいますか？

(答) AAA(トリプルエー)というグループに八幡市出身のかたがいます！野球選手にも数名います！

(携帯電話で調べてくれた八幡市の委員もたくさんいて、「この人も！」と次々に手を挙げて教えてくれたので盛り上がりました。)

など

感想発表・閉会

最後はお互いに交流会を終えての感想を発表し合い、スクリーンショットによる記念撮影をして閉会となりました。今回の交流会は、通信状態が不安定になるというトラブルもありましたが、お互いの市の魅力や活動内容について詳しく知ることができ、良かったです。八幡市の委員からも「楽しかった！」、「お互いの違うところが参考になった！」との感想があがっていました。

また、青森市から八幡市へ、青森市と八幡市それぞれの子ども会議の公式キャラクターをプリントした缶バッジをプレゼントしたお返しということで、八幡市から「離れているけれども、お互い頑張りましょう！」とエジソンの白熱電球がプリントされたタンブラーをプレゼントしてもらいました。

(エジソンは八幡竹を使って、白熱電球の連続点灯時間を 1200 時間にすることができたそうです) 両市の友好を深められて、とてもうれしかったです。



子ども会議フォーラムに向けて

オンライン交流会終了後、子ども会議の公式 Instagram にのせるため、子ども会議フォーラムまでのカウントダウン動画の撮影の続きを行いました。みんなが見ている前で撮影するのが恥ずかしくて、もじもじする委員もいましたが、意を決して頑張りました。子ども会議フォーラムは11月16日(土)なので、5日前の11月11日(月)から当日まで、公式 Instagram のストーリーズに随時載せていきます。